

厳しい制約条件下で施工可能な橋台・擁壁の耐震補強工法

佐名川太亮 中島進 神田政幸

橋台や擁壁の抗土圧構造物を対象とした耐震補強技術と

しては、これまでにいくつかの工法が提案されており、また実構造物に適用されています。しかしながら、これらの既往技術は、施工時に構造物の前面の用地を支障することが前提となることから、特に都市部のような狭隘な箇所に位置する抗土圧構造物については、用地や施工環境の制約により耐震補強工事の実施が困難となる場合があります。

鉄道総研ではこれまでに厳しい制約条件下においても適用可能で、レベル

2地震動に対しても要求性能を満足することができる抗土圧構造物の耐震補強工法を開発してきました。本稿ではこれらの補強工法について概説するとともに、実構造物への適用事例を紹介します。

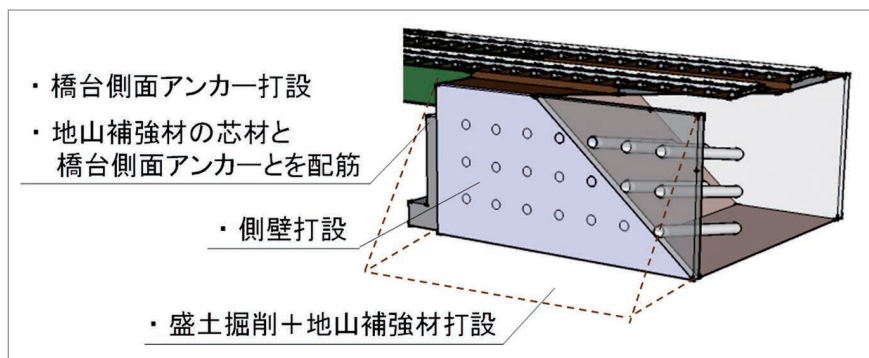


図 抗土圧構造物の耐震補強工法の例(地山補強材を用いた橋台の耐震補強工法)